

7. 事業ロードマップ案 (1)事業ロードマップ

別添資料2

中期ロードマップ

今年度の事業で選定された優先支援資源と、コンテンツ化に向けた各種課題を踏まえ、本事業の中期ロードマップを下記の通り提案する。

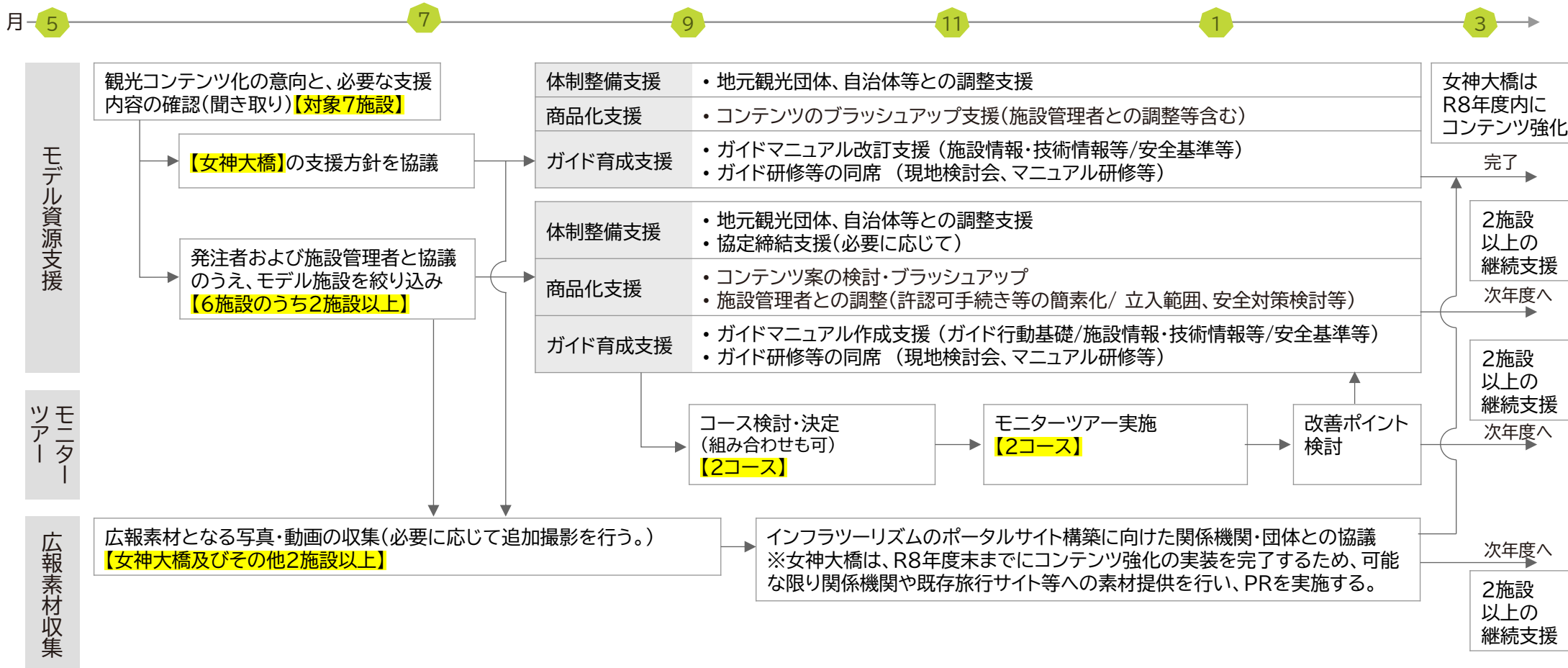
区分	内容	R7(2025)年度(実施事項)	R8(2026)年度	R9(2027)年度	2028~
委託業務	資源調査・評価等	<ul style="list-style-type: none"> 机上調査(10件程度へ絞り込み) 現地調査(上記10件の管理者、地元自治体、観光団体等ヒア) 先進地調査、旅行会社等ヒア <p>[モデル施設候補] 女神大橋/ 本明川ダム/ 萱是ダム/ 本河内ダム/ 雲仙砂防施設/ 針尾無線塔/ 長崎空港</p>	(実装支援の状況により、2025年度に次点評価の施設のコンテンツ化を検討する可能性を含む)		
	体制構築	<ul style="list-style-type: none"> 事業のロードマップ作成(R8,R9) 	<ol style="list-style-type: none"> 実装に向けた各コンテンツの体制整備支援 <ul style="list-style-type: none"> 地元観光団体、自治体等との調整支援 協定締結支援(必要に応じて) 県のインフラツーリズム広報体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> PR素材の収集(新規撮影は有望施設を優先) 	<ol style="list-style-type: none"> 実装に向けた各コンテンツの体制整備支援 <p>必要な個所において継続</p> 県のインフラツーリズム広報体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトコンテンツの制作 ショートPR動画の制作 	<p>観光との連携</p> <p>広報体制の構築</p>
	実装支援		<ol style="list-style-type: none"> 各資源の商品化支援 <ol style="list-style-type: none"> コンテンツ案の検討・ブラッシュアップ <ul style="list-style-type: none"> 施設管理者との調整(許認可手続き等の簡素化/ 立入範囲、安全対策検討等) モニターツアー試行 <ul style="list-style-type: none"> コンテンツ単独・組み合わせ各1回を想定 ガイド人材育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ガイドマニュアル作成支援(ガイド行動基礎/ 施設情報、技術情報等/ 安全基準等) ガイド研修等の同席(現地検討会、マニュアル研修等) 	<ol style="list-style-type: none"> 各資源の商品化支援 <ol style="list-style-type: none"> コンテンツ案の検討・ブラッシュアップ <p>必要な個所において継続</p> モニターツアー試行 <ul style="list-style-type: none"> コンテンツ単独1回を想定 ガイド人材育成支援 <ul style="list-style-type: none"> 現地検討会、マニュアル研修 <p>必要な個所において継続</p> <p>[目指すゴール(R9末)] ・販売できるコンテンツとして2箇所実装</p>	<p>地域主体でのツアー実施</p>
[参考] 県直営業務	女神大橋	<ul style="list-style-type: none"> 実施協議(関係部局、ガイド、OB会等) 桁下見学追加の検討、安全対策 モニターツアー兼20周年イベント・11/29,30実施(65名参加) 実施結果の検証 	<p>※R8は、上記業務の中で体制強化を行い、観光コンテンツ強化を図る。</p> <p>[目指すゴール(R8末)] ・女神大橋のコンテンツ強化</p>		

7. 事業ロードマップ案 (1)事業ロードマップ R8年度

R8(2026年度)事業案

モデル施設: 女神大橋(R8未完了)、本明川ダム/萱瀬ダム/雲仙砂防施設/針尾無線塔/本河内ダム/長崎空港のうち2施設以上コンテンツ化(R9末)

- 令和8年度末に女神大橋のコンテンツ強化及び令和9年度末に2施設以上のインフラツーリズムの実装を目指し、令和7年度に絞り込んだ7施設全てに対してヒアリングを行い、早期の実装可能性を検証した上で、女神大橋及びその他2施設以上に絞り込み、伴走支援を行っていく。
- 支援内容は各資源の状況により異なるが、関係者間の連携を前提とした体制整備の調整支援、コンテンツ案の検討・ブラッシュアップ、ガイドマニュアル(シナリオ)の作成又は改訂、安全管理基準の検討に係る支援などが中心となる。なお、工事中の資源(本明川ダム)が対象に含まれる場合は、工事進捗に応じてガイド内容が変わるため、シナリオではなくガイド要綱に類するものの作成支援が想定される。
- 実装・販売に向けての広報ツールの準備も平行して進めていく必要があるため、支援対象施設が有する広報素材(写真・動画)を収集する。伴走支援対象の資源において、広報素材が不足すると判断した場合には、追加撮影を行う可能性を含む。



7. 事業ロードマップ案 (1)事業ロードマップ R9年度

R9(2027年度)事業案

※実装に向けた支援を前年度より継続する。(前年度の進捗状況や、選定外施設の状況変化によっては、支援対象施設を変更する可能性がある)
 ※令和9年度の本ロードマップ案は、事業の進捗状況を踏まえ、令和8年度末に見直しを行うこと。

- 令和8年度の進捗を踏まえ、継続して支援・検討が必要な資源に対して商品化に向けた各種支援を継続し、年度内の「2コンテンツの実装」を目指す。
- 「長崎県インフラツーリズム」を『群』としてプロモーションしていくことを想定し、県観光連盟や各資源が所在する基礎自治体・観光協会等との協議を進め、既存の観光ポータルサイト内にインフラツーリズム紹介ページを構築することを目指す。
- 本事業で実施するモニターツアーのほか、主催者・管理者主導で実施されるモニターツアーがある場合には、可能な範囲で参加・視察を行うことを想定する。

